費用進行基準による振替額	資産見返運営費交付金	—	②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：6,541,537円 研究業務費　業務委託費　1,530,005円 保守・修繕費　2,696,141円 旅費・交通費　38,110円 その他の研究業務費　157,823円　4,422,079円 一般管理費　保守・修繕費　900,770円 その他の一般管理費　1,218,688円　2,119,458円　6,541,537円 ③運営費交付金の振替額の積算根拠 運営費交付金を財源とする経費等の全額を運営費交付金収益等に計上しております。
	資本剰余金	—	
	計	6,541,537	
会計基準第80第3項による振替額		—	—
合計		6,541,537	

②平成20年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	1,972,658,741	①費用進行基準を全ての業務に採用しております。 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：1,972,658,741円 研究業務費　人件費　872,791,390円 その他　601,101,318円　1,473,892,708円 一般管理費　人件費　263,902,714円 その他　234,863,319円　498,766,033円　1,972,658,741円 イ）固定資産の取得額：31,071,778円 （工具器具備品：30,084,778円、ソフトウェア：987,000円） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 運営費交付金を財源とする経費等の全額を運営費交付金収益等に計上しております。
	資産見返運営費交付金	31,071,778	
	資本剰余金	—	
	計	2,003,730,519	
会計基準第80第3項による振替額		—	—
合計		2,003,730,519	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成19年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	2,137,300	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高は、長期前払費用等により、翌事業年度に繰り越したものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において収益化する予定であります。
平成20年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	7,222,481	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高は、期を跨いだ業務委託等の契約済繰越等により、翌事業年度に繰り越したものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定であります。